

2010 年センター報告・日誌

*耐震補強工事の実施

文部科学省の特別経費により社会科学古典資料センター建物の耐震補強工事を行っている。工事中は全資料を一時退避するため、全資料の利用を停止し、ご迷惑をおかけしているが、この機会に書庫環境の改善、マイクロ室の設置等、保存環境の整備も行うため諒とせられたい。

*左右田文庫保存事業

平成 20 年度より一橋大学後援会より奨学寄付金の助成を受け、左右田文庫の保存修復作業を行っている。全資料に対する劣化調査をすると共に、保存修復作業が必要な資料に対しては、保革油塗布、保護ジャケット・保存容器の作製、ページ修理、保存製本等の処置を施している。こうした保存修復作業は、製本家・書籍修復家からの指導を受けながら、センター内に設置されている貴重書保存修復工房のスタッフにより行われている。

*左右田文庫遡及入力

昨年度より左右田文庫目録を国立情報学研究所総合目録データベースへ遡及入力する作業を行っている。平成 24 年度までに左右田文庫全点の入力を完了する予定である。

第 11 回西洋古典資料保存講習会

下記の内容で、7 月 5 日（月）から 7 月 7 日（水）まで 3 日間開催し、全国の国公立大学図書館等から 8 名が参加して、実習を中心に行った。

1. 保存計画のための材料と環境 増田勝彦（昭和女子大学教授）
2. 劣化調査と保存計画 増田勝彦
3. 製本構造、調査票の記入・活用、本のクリーニング、書見台、革装本の手入れ、保存容器、保存製本 岡本幸治（製本家・書籍修復家）

第 30 回西洋社会科学古典資料講演会

下記の内容で、11 月 9 日（火）から 11 月 12 日（金）まで 4 日間開催し、全国の国公立大学図書館等から 31 名が参加した。

古典研究

- (1) G.W.F. ヘーゲル その哲学と現代
大河内泰樹（一橋大学大学院社会学研究科准教授）
- (2) フランス啓蒙思想をめぐって
山崎耕一（一橋大学社会科学古典資料センター教授）
- (3) 印刷術出現前夜のイタリアの書物
大黒俊二（大阪市立大学大学院文学研究科教授）

書誌学

- (1) 記述書誌を“読む”面白さ：図書館員のための書誌学入門
武者小路信和（大東文化大学文学部准教授）
- (2) 書籍の展示—実践篇
佐川美智子（町田市立国際版画美術館学芸係長）
- (3) 『稀覯書の書誌記述』による目録作成
床井啓太郎（一橋大学社会科学古典資料センター専門助手）
- (4) カメラリストたちの著作とその楽しみ
川又 祐（日本大学法学部教授）

保存・修復

- (1) 紙資料の保存
増田勝彦（昭和女子大学大学院生活機構研究科教授）
- (2) 歴史的製本の修理と保存の基礎技術
岡本幸治（製本家・書籍修復家）

工房実演（貴重書保存修復工房）

日誌（2010 年 1 月～ 12 月）

- 3 月 31 日 一橋大学社会科学古典資料センター年報 第 30 号発行
Study Series No.63：野呂 康
『古典資料センター所蔵「マザリナード」の現在
附所蔵マザリナード一覧及び選集合本内容一覧』発行
- 5 月 11 日～ 25 日 センター展示「海を渡った経済学の至宝
メンガー文庫と一橋大学」開催
- 6 月 15 日 Study Series No.64：増田勝彦・岡本幸治・床井啓太郎
『西洋古典資料の組織的保存のために〔改訂版〕』発行
- 6 月 16 日 第 11 回社会科学古典資料センター専門委員会
議題：1 平成 21 年度事業報告について
2 平成 21 年度決算報告について
3 平成 22 年度事業計画について
4 耐震補強工事に伴うセンター一時閉館について
5 メンガー文庫手沢本公開事業の進捗状況について
- 7 月 5 日～ 7 日 第 11 回西洋古典資料保存講習会開催
- 7 月 12 日～ 8 月 30 日 蔵書点検
- 9 月 1 日～ 12 月 31 日 耐震補強工事に伴う休館
- 11 月 9 日～ 12 日 第 30 回西洋社会科学古典資料講習会開催

利用状況（2010 年 1 月～ 12 月）

開館日数	158 日
利用者	148 人
（学内）	44 人
（学外）	20 人
（文献複写）	32 人
利用冊数	155 冊
複写冊数	42 冊